



スタートは宇治川



流れの速い三川合流付近



参加無料



水制工やわんどを過ぎる



枚方のゴールは目の前！

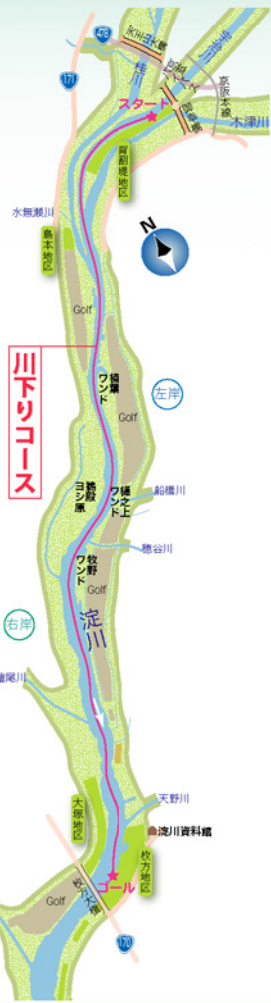
Eボートで淀川下り!

～Eボートに乗って背割堤地区～枚方地区間をゆったりパドリング～

かつて淀川では舟運が盛んでした。平安貴族の足として、また秀吉以降は京都・大阪を結ぶ手段として重宝され、明治の蒸気船導入でさらに発展し、舟運は交通手段として一時代を築きました。しかしその後の鉄道開通、路線網の広がりとともに、舟運は消えていくこととなりました。

近年、川を交通手段として見直す機運が興っています。阪神淡路大震災後の陸上交通の脆弱さが後押ししました。淀川には緊急時用の船着場や高水敷の道路が整備され、淀川を交通路として見直す事業が進められてきました。自治体や民間事業者でも、舟運復活をめざす取り組みが行われています。今、私たちは川と人との関わりを再認識し、昔のように、川と親しみ、川との付き合いを深めていく時に来ています。

淀川河川公園ではこの秋より、淀川の舟運を体験してもらう、Eボートを使った川下りを始めます。コースは八幡市の背割堤地区宇治川河畔から枚方市の枚方地区までのおよそ10km。前半は流れにのる川下り、後半は手漕ぎを楽しむ約1時間30分の舟の旅です。江戸時代に三十石船から描かれた兩岸絵図の風景を想い、今も残る豊かな自然を体感してください。



淀川を身近に感じ、淀川への思いがふくらみ、大切に思える旅となるでしょう。

Eボート体験を募集します

定員8人のEボートを2艇で16人。1日に午前午後各1回、合計2回出艇しますので、合計32人の募集です。現在実施日程は未定。詳細は決まり次第、淀川河川公園のホームページでお知らせします。

団体申込みも受け取ります

学校ほか淀川での水辺の学習や自然学習に興味をお持ちのグループなどより、体験希望を受け付けます。

[申込み・問い合わせ]
淀川河川公園 守口サービスセンター
TEL.06-6994-0006



Eボートとは？

川や湖などの水辺で人々が交流(Exchange)することによって、水辺や流域の環境(Environment)をゆっくりと見直し、考え直すきっかけを作り、エコライフ(Eco-life)を促進させるために開発されたボートです。(全長6.5m・全幅1.4mの10人乗りゴム製手漕ぎカヌー。前後に2名のRACインストラクターが同乗するため、ピジター定員は8人となります)



(写真は背割堤地区)

秋の服部緑地イベント「グリーン×ミュージックウィーク2010」との連携開催。地域のみなさんに緑化活動参加を呼びかけます。緑化15団体による各種緑化資料展示のほか体験教室や工作教室(淀川河川公園ブースでは葦工作・しじみ工作)。緑の配布もあります。場所は服部緑地内の都市緑化植物園(当日は入園無料)。10時~16時、交通/北大阪急行緑地公園駅下車徒歩約5分[問い合わせ/事務局(近畿地方整備局建設部都市整備課内)06-6942-1083(代)]



暮らしに緑を! 花苗、植物の格安販売、植木の競り市(両日11時)、淀川のヨシをつかってコースターやタペストリーを作る工作教室(参加100円)、その場で写真を撮って作る缶バッチコーナー(1個200円、また写真データをお持ち頂いても結構です)等。また、フリーマーケットも開催しますので、出店応募もお待ちしております。場所は守口サービスセンター前広場(守口スポーツプラザ)、10時~17時(24日は16時まで)[問い合わせ/06-6994-0006]



淀川上流の琵琶湖に流れ込む120本の川の水は森林が育んでいます。「森林(もり)の市」は森林の大切さを広く知っていただくイベントです。水と川、森に関わる49の団体の出展と15演目のステージ出演で会場を盛り上げます。会場は毛馬桜之宮公園・OAP・近畿中国森林管理局(大川源八橋西詰)周辺。(淀川河川公園ブースでは葦工作・缶バッジ販売など)10時~16時、交通/JR大阪環状線桜ノ宮駅下車西出口から徒歩約5分[問い合わせ/事務局(近畿中国森林管理局指導普及課)050-3160-6753]
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>



ご家族やグループ、学校・会社の仲間等々...4名以上10名以内のチームで、1周2kmの公園内特設コースを計21周と195m完走するフルマラソンサイズのタスキリレーです。走る順序や回数は自由。一人で何周走っても構いません。(制限時間4時間) また、今大会より会場が太間地区から枚方地区へ変更になり、「より便利」になりました。仮装ランナーも大歓迎! 事務局締切/11月8日(月)必着、インターネット締切/11月1日(月)、定員180チーム [問い合わせ/事務局092-734-4180、0120-846-598]<http://www.fieldbrain.com/>



淀川の冬は野鳥ウォッチング! 枚方地区北側から上流方向へ、シニア自然大学の講師とともに河原の鳥や水鳥などの探鳥を楽しみます。